

長崎地本だより

発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
Tel. 095-826-8844

イージス護衛艦に6700人来艦！

出島岸壁に 護衛艦「ちょうかい」来航！



8月15日(土)16日の2日間、長崎地本は海上自衛隊から護衛艦「ちょうかい」(艦長・富松1海佐)、第16普通科連隊(連隊長・南野1陸佐)の支援のもと、長崎市の長崎水辺の森公園において艦艇広報を実施しました。

一般公開前日の14日(火)には体験航海が実施され、参加者32人(募集対象者30人)を対象に佐世保から長崎までの航海を楽しんでいただきました。長崎港へは午後2時に入港し、長崎県防衛協会(会長・中村法道

様)主催による入港歓迎行事が実施されました。翌日から一般公開では、甲板上の装備品見学のほか、30歳までを対象にした艦内特別見学も実施されました。岸壁では、海自佐世保総監部の支援によるミニ制服の試着や、16普通科連隊の乗員によるラッパの演奏など様々な催しが実施されました。また、地本ブースでは中高生を対象にアンケート調査や自衛隊の職業紹介なども行いました。珍しいイージス艦の公開とあつて地元メディアにも取り上げられ、平日にも係らず2日間で6700人余の来場者で賑わいました。

今後も、長崎地本では一般公開をはじめ体験ツアーなどを実施し、県民の皆様へ広く自衛隊を広めると共に自衛隊へのご理解と志願者獲得へと努力して参ります。(広報室)



投稿

長崎防衛協会部隊研修

長崎防衛協会(植松俊徳会長)は、7月5日(木)から6日(金)の2日間、福岡地区の部隊研修を行いました。

1日目は、陸自西部方面混成団長及び幹部候補生学校長への表敬、献花、装備品展示等を研修、2日目は、陸上自衛隊第4師団長及び空自西部航空方面隊司令官への表敬、概況説明等の研修を実施しました。

あいにくの雨の中での研修となりましたが、陸・空自部隊の現状や教育の厳しさを認識するとともに、厳しい任務に邁進している隊員の姿を見ることができ、有意義な研修となりました。(長崎防衛協会)



西部方面音楽隊演奏会 in 佐世保

8月11日(土)アルカス佐世保(佐世保市)において、佐世保では初となる西部方面音楽隊(隊長・伊藤3陸佐)による巡回演奏会を開催しました。

開場後、ウエルカムコンサートを楽しんでいたが、開演時間を迎えた。コンサートは国歌斉唱から始まり、第1部では、軽快なテンポで聴く人をうきうきとさせる「ナヴァル・ブルー」や「ロマンツァ」、大津1陸士の独奏による「マリンバ協奏曲」や聴く人の想像力をかきたてる「大空への挑戦」とミリタリー・バンドならではの迫力ある演奏が披露されました。

その後、地元の佐世保東翔高校吹奏楽部との協奏で第2部が開始されました。

第3部では、1960年代の佐世保を舞台にした映画「坂道のアポロン」の劇中で披露されたジャズにスポットを当てて「モーニオン」、「ティクファイブ」や「サウンド・オブ・ミュージック」でおなじみの「私のお気に入り」など計4曲を演奏し、最後は「シング・シング・シング」により第3部を締めくくりました。

会場の熱烈なアンコールに応じて「軍艦行進曲」、「群青」や「古き名譽の砲兵中隊」など自衛隊に縁ある曲を披露し、佐世保初開催となったコンサートは盛況のうちには終わりました。(広報室)



三自衛隊統一募集広報「パワーアドベンチャー」に参加！



西部方面隊三自衛隊統一募集広報「パワーアドベンチャー」が、夏休み真最中の8月9日(木)・10日(金)の二日間実施されました。長崎県内からは、高校生9人が参加しました。

今回の開催は南部九州地区であり、前日の8日から出発しての参加となりました。参加者たちは長崎出発の際には初対面できこちない様子でしたが、初日の宿泊所となる宮崎県の空自新田原基地に到着する頃にはすっかり打ち解けているようでした。

初めての営内での宿泊やベッドメイキングの体験などを行い参加者たちは普段より早めの就寝につきました。翌日はラッパの音で起床し、いよいよパワーアドベンチャー

が開始されました。新田原基地では、普段は見ることのできない航空機やその内部、航空機の整備管制塔における航空管制の様子などを見学し、参加者たちは一様に真剣な眼差しで講習へ参加していました。

午後は、次の研修地であるえびの駐屯地へと移動し陸自、火砲(FH70)の射撃準備の見学や警務隊による指紋採取の体験、軽装甲機動車や高機動車の体験搭乗、個人装具の試着など普段は体験できない貴重な経験をし、同駐屯地に宿泊しました。

最終日は、鹿児島県にある海自鹿屋基地に移動して哨戒機、哨戒ヘリや救難ヘリの研修や、全国でも珍しい

九州電気保安協会で開催されている予備自衛官招集訓練に参加する予備自衛官の募集が、今年度から特別休暇扱いで5日間訓練に参加できるようになりました。

これまでに、訓練参加時には有給休暇を使用していたが、今年3月の本部長の協力要請に、特別休暇の使用が可能になりました。

7月13日(金)同協会顧問の久保氏と営業部長の田中氏が地本を訪れ、本部長と懇談し、本部長からは同協会の今回の職務環境の整備に対し改めてお礼の言葉を述べました。

また、同協会からは、「退職自衛官は検針業務等においてしっかりと働いてくるとともに、人材確保に対する情報提供依頼がありました。

地本としては引き続き、退職自衛官の有用性をPRするとともに、予備自衛官の招集訓練に積極的に参加していただくことを目指してまいります。



のではないかと思います。(島原所)

第22航空群(群司令・岡田 真典海将補)は、8月1日(水)・3日(金)の日程で開催された大村市夏の最大イベント、「平成30年おおむら夏越まつり」へ同まつり協賛会(会長・園田 裕史大村市長)からの依頼を受け総踊りへ参加しました。

おおむら夏越まつりは、昭和55年より「大村を元気にしたい」との熱い思いから大村市内全25神社や各種団体等の運営協力を得て始まった祭りです。

3日目の最終日には、市内18団体総勢約1400人の踊り子が参加する中、大村航空基地の隊員から構成される「ちどり連」(群司令以下総勢64人)は、昼間の猛暑の名残と祭りに沸き

立ちつ市民の熱気が入り混じる総踊り会場において、明るく、力強く、そして一糸乱れぬ踊りを披露し、会場を埋めつくす多くの市民・見物客を魅了する事ができました。

また、総踊りコンテストでは、特に優秀な団体に与えられる「夏越特別賞」の栄冠を獲得し、表彰式後のアンコール総踊りでは、応援に駆けつけた隊員や家族、支援団体の方々とも一体となって終始笑顔で夏越特別賞受賞の喜びを分かち合いました。

市民が一体となって、真夏の夜に煌々大輪の華を咲かせた今年の「おおむら夏越まつり」は、大盛況の中で、幕を閉じました。

(第22航空群)



投稿 大村基地が特別賞受賞！ おおむら夏越まつり総踊り！

特別休暇扱いで予備自衛官招集訓練に参加

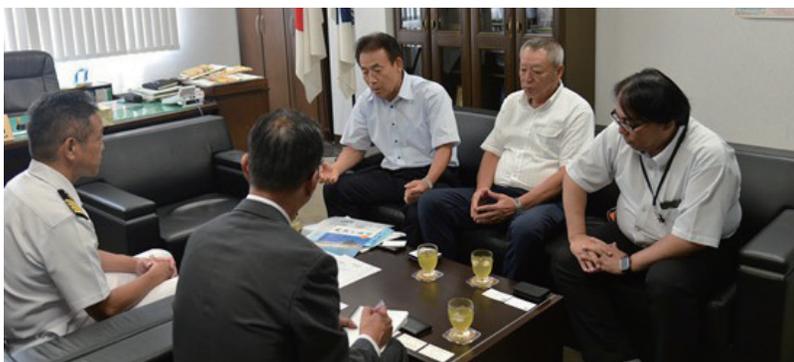
九州電気保安協会で開催されている予備自衛官招集訓練に参加する予備自衛官の募集が、今年度から特別休暇扱いで5日間訓練に参加できるようになりました。

これまでに、訓練参加時には有給休暇を使用していたが、今年3月の本部長の協力要請に、特別休暇の使用が可能になりました。

7月13日(金)同協会顧問の久保氏と営業部長の田中氏が地本を訪れ、本部長と懇談し、本部長からは同協会の今回の職務環境の整備に対し改めてお礼の言葉を述べました。

また、同協会からは、「退職自衛官は検針業務等においてしっかりと働いてくるとともに、人材確保に対する情報提供依頼がありました。

地本としては引き続き、退職自衛官の有用性をPRするとともに、予備自衛官の招集訓練に積極的に参加していただくことを目指してまいります。



長崎地本OB会総会
6月16日(土)、平成30年度長崎地本OB会(三浦正司会長)総会が長崎市内のホテル(ホテル ニュータンダ)で開催されました。

晴天に恵まれ、県内をはじめ遠くは山口県からの参加者を含め盛大に行われました。

総会は、国歌斉唱、物故会員に黙祷、会長挨拶の後、小谷本部長から挨拶がありました。

議事では、29年度事業報告、決算報告、30年度事業計画等が承認されました。

その後、意見交換会にて、会員と現職の親睦を深め、会は盛会の内に終了し、会場を後にされる各会員は来年もこの場での再会を誓いあつて帰路につかれました。

(総務課)

人事

【転出】
西部航空方面隊司令部 支援飛行隊へ
島原地域事務所 松原 功尚
2等空曹



お別れになりました

【採用】
佐世保健センターへ
期間業務隊員 猪股 主税



ようしくお戻りします

以上 9月1日付